

## 高山村（たかやまむら）

## 場所



## 基本情報

R5.1.1現在

- 人口：6,649人 ■世帯数：2,492世帯
- 面積：98.56km<sup>2</sup>（人口密度 67人/km<sup>2</sup>）
- 主な地域内の移動手段：  
自家用車、バス、デマンドタクシー

## 特徴

## 地理・交通

鉄道だと、最寄の須坂駅まで東京から2時間20分、名古屋から3時間40分。  
須坂駅からバスで約20分。車で、高速道路を利用して、東京から約3時間30分、  
名古屋から約3時間40分に位置します。

気候  
(冬の様子)

村内で標高差のある高山村では住む地域によって積雪も異なります。月数回は雪かきが必要です。車とバスが主な交通手段である村では、出勤等に支障が出ないように積雪10cm以上になると除雪車が出動します。

## 名物

りんごやぶどうなど果樹栽培が盛んです。近年ワインぶどうの生産も増え、ワイン特区の村内には小規模ながらこだわりを持ったワイナリーが増えています。村内限定販売のワインもあります。

## PRポイント

近隣市町村まで車でアクセスが良いため村外で働く方が多いです。渓谷沿いに8つの温泉が連なる信州高山温泉郷があり、そのうち3か所は年パスがあり、毎日のように温泉を楽しむ方もいます。保育園、小中学校各1校で、豊かな自然の中で子どもたちが自ら学び、心身ともに健康に成長できるような子育て支援を実践しています。

## 移住の取組

## 移住支援制度

- 空き家バンク登録物件購入補助、若者住宅建設促進事業助成金制度
- 定住促進結婚祝金、結婚生活支援金
- 子育て支援：出産祝金、18歳まで医療費無料、小中学校入学祝金

担当からの  
メッセージ

事前予約制でオンライン相談も実施しています。

## 連絡先

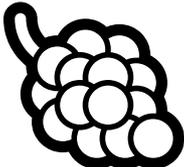
## 【高山村役場 定住支援室定住支援係】

電話：026-245-1100

高山村ホームページ →

E-mail：teiju@vill.takayama.nagano.jp



 高山村のワインぶどう  
の特徴 

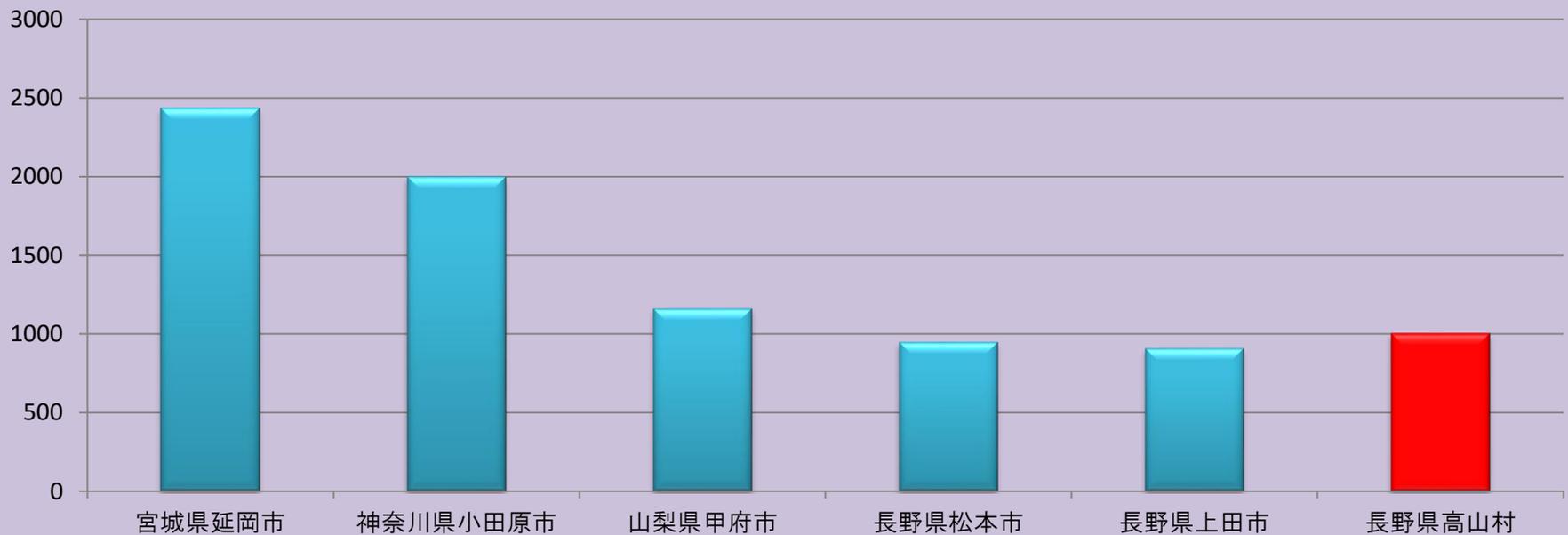
## 果樹栽培に適した4つの条件

## ■ 1

## 《雨が少ない》

生育が進み、収穫期を迎える夏から秋に雨が多いと、良いぶどうづくりはできません。内陸部の高山村は、年間平均降水量が1,000mmと非常に少ない地域です。

年間降水量  
(単位:mm/2020年気象庁データ)



## 果樹栽培に適した4つの条件

## ■ 2

## 《水はけがよい》

高山村の果樹地帯は、扇状地に広がる傾斜地と砂礫質な土壌とが相まって、ワインぶどうの好む水はけが良い地域です。砂礫質の堆積層の表面は火山灰などの降下物で形成された“黒ノボ”と呼ばれるローム層で覆われており、洪積層砂礫質土65%、火山灰土35%の水はけの良い地質です。



## 果樹栽培に適した4つの条件

## ■ 3

## 《冷涼な気候、昼夜の寒暖差が大きい》

内陸性気候の高山村は、年間平均気温が $11.8^{\circ}\text{C}$ と比較的冷涼で、また昼夜の寒暖の差が大きい（年最高平均気温 $21.4^{\circ}\text{C}$ 、最低平均気温 $-3.8^{\circ}\text{C}$ ）地域です。夜の気温が下がると糖度が高まり、ぶどうの着色が良くなります。また、十分な酸味も残ってワインぶどうに適した生育が可能です。

植物も人間同様、夜間の温度が高いと呼吸量が多くなり、たくさんのエネルギーを消耗しますが、気温が低ければ活動が抑えられて余計なエネルギーを使わずに済み、良い成熟が迎えられるとされています。



## 果樹栽培に適した4つの条件

## ■ 4

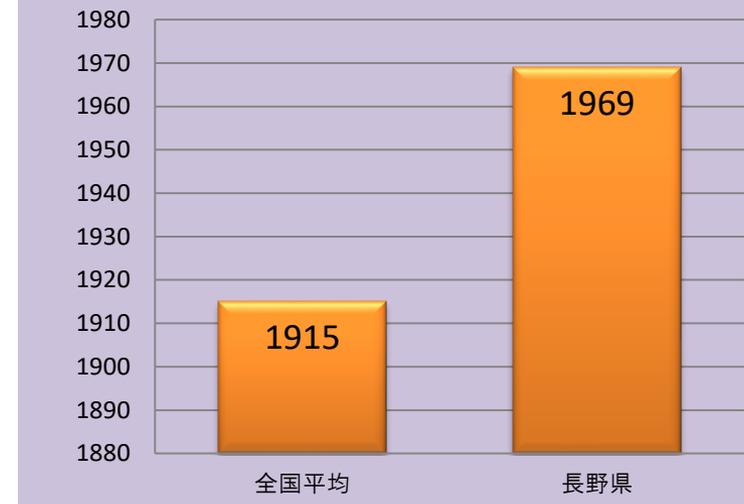
## 《日照時間が長い》

品質の良いワインづくりの条件となる、ぶどうの糖度や酸度を高めるためには、日照時間が長いことも大切です。

雨が少なく、長野市がある善光寺平に向って、西に緩やかに傾く扇状地に果樹地帯が広がる高山村は、日照時間が長い地域です。



1年の平均日照時間  
(気象庁データ)



# 信州高山村ワイン畑マップ

## VILLAGE TAKAYAMA VINEYARD MAP

高山村は、年間降水量が少なく、標高が高いため冷涼で昼夜の寒暖の差が大きい気候。西傾斜による長い日照時間、砂礫質で水はけのよい土壌など、ワインぶどう栽培に適した地域です。この恵まれた自然条件は、銘醸地と称されるワインの産地、フランス「シャンパーニュ」や「ブルゴーニュ」北部地方に近い理想的な気候といわれています。



### 高山村で栽培されている主なワインぶどうの品種

赤：メルロ、カベルネ・ソーヴィニヨン、ピノ・ノール、シラー、バルベール  
 白：シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブランなど



### 栽培カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
せんてい 剪定												
め 芽かき												
しんしょうゆういん 新梢誘引												
かきせんてい 夏期剪定												
できほう 摘房・除葉												
しゅうかい 収穫												



今年以降の収穫を見据えて昨年伸びた枝を切る



ぶどうの房をつけることになる芽に栄養を集中させるため、余分な芽を摘み取る



伸びた枝を固定して風通しを良くする



ソルの根元から生えてくる側芽を摘み取る

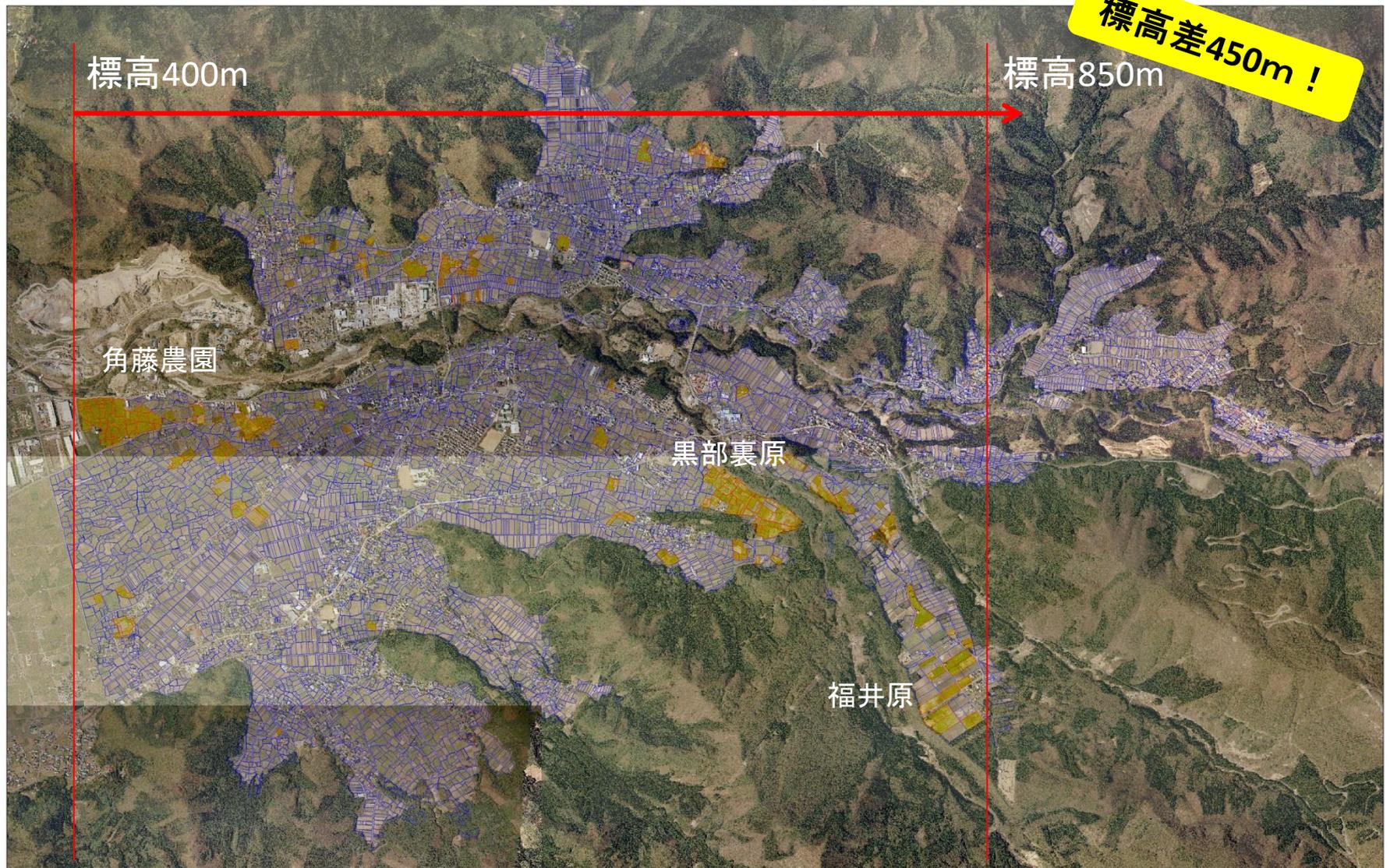


ぶどうの凝縮感を高めるため、余分な房は摘み取る



品種ごとに熟度を見極め収穫日を決定し、ひと房ひと房丁寧に収穫する

# 高山村のワインブドウ畑の分布のようす



標高400m

標高850m

標高差450m!

角藤農園

黒部裏原

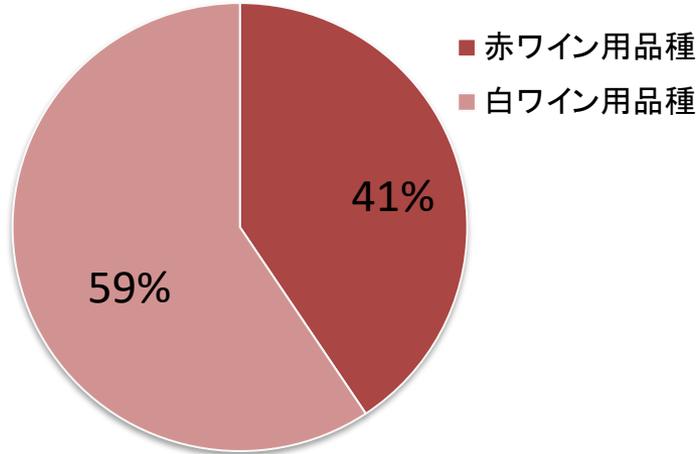
福井原

S=1:20,000

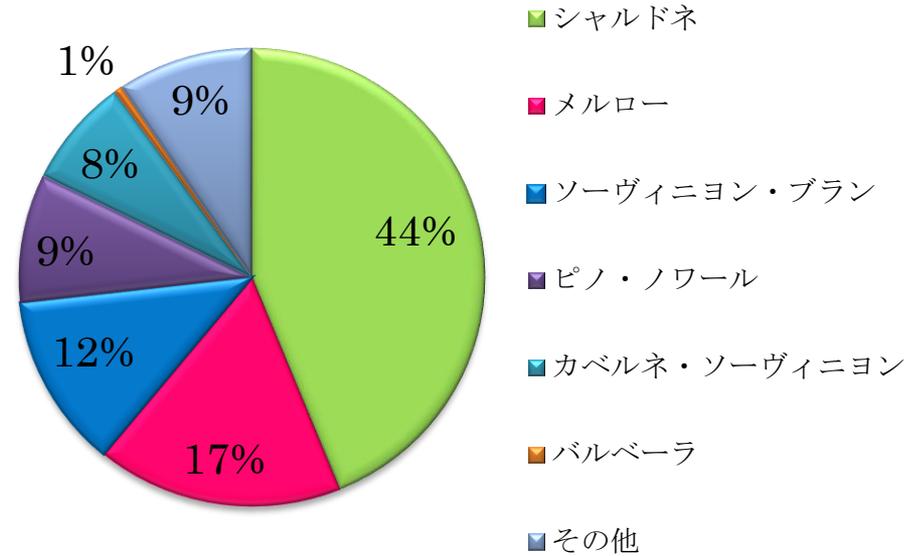
高山村

高山村のワイン用ブドウ栽培状況

赤白品種の栽培面積割合

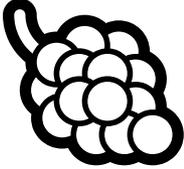


品種別の栽培面積割合



高山村の標高400Mから850Mの間に広がる果樹地帯は、「土地の標高差を利用し、フランス・イタリア・ドイツ品種など欧州地域の全ての品種の栽培が可能」と言われています。

高山村では、村の気候・風土などの自然条件、標高差のある村の地形を利用して、白ワイン用品種のシャルドネやソービニオンブラン。赤ワイン用品種のメルローやカベルネ・ソービニオンのほか、バルベラやピノ・ノワールなど多様な品種栽培へ取り組んでいます。

 高山村のワインと  
地域振興 

## 高山村のワイン振興に係る主な施策

- ①振興組織の設立（高山村ワインぶどう研究会発足）
- ②栽培協力協定の締結（角藤農園株式会社・高山村ワインぶどう研究会・高山村）
- ③優良農地保全（農業振興地域の一部区域における陸砂利採取を原則禁止）
- ④農作物団地化の推進（ドリフト対策）
- ⑤鳥獣害対策（恒久電柵の設置）
- ⑥営農支援センターの設置
- ⑦構造改革特別区域計画「信州・高山ワイン特区」の取得
- ⑧高山村ワイナリー構想策定（ワイン振興任期付専門職員の配置）
- ⑨農業基盤の整備（県営中山間総合整備事業の導入）
- ⑩農業の6次産業化支援（ワイナリー等創業支援）
- ⑪新規就農者の確保（新規就農者住宅、就農お試し住宅の整備）
- ⑫村単独補助制度（農地再生利用補助金、棚設置費・苗木購入費補助）
- ⑬ICTを活用した最先端農業技術研究（気象観測システム構築）
- ⑭「高山村ワイン」プロモーション

村をあげてワイン造りを盛り上げる高山村産ワインの誕生に向けてのスタート！

## 平成18年2月 高山村ワインぶどう研究会設立 (発足当時村内の農業者を中心に30名)



平成17年7月4日 会場チャオル  
「信州高山ワインぶどうシンポジウム」  
～日本一のワインぶどうを目指して～

講演「日本一のワインぶどうへの道」  
日本ソムリエ協会常務理事高野豊氏

## ●高山村ワインぶどう研究会 H18.2.15設立

会員数	139名	(2022.4月現在)
-----	------	-------------

ワインぶどう研究会は、村の新たな特産物としてワインの振興を図るため、①ワインぶどうの栽培、②ワインの醸造・販売、③ワイン文化の振興について調査、研究することを目的に設立され、活動に賛同する者が職種を問わず参加している。(栽培者をはじめ、醸造・農業用資材関係者、酒販・飲食店関係者、旅館経営者、会社員、地方自治体職員、ワイン愛好家などさまざまです。)

## ●信州高山ワインぶどう出荷組合 H22.8.10設立

組合員数(栽培者数)	14名	(2022.11月現在)
------------	-----	--------------

出荷数量	65t	(2022.11月現在)
------	-----	--------------

ワインぶどう研究会とは別に、収穫したワインぶどうをワインメーカーへ出荷するため、栽培者のみで構成する出荷組合を平成22年に設置。

(品質向上、原料のとりまとめ、出荷日程調整、価格交渉を行う)

## 【生産振興】 栽培技術・知識の習得を目指して



芽かき講習会



出荷前園地巡回



剪定講習会

- ・芽かき講習会
- ・新梢管理講習会
- ・出荷前園地巡回(出荷組合共催)
- ・剪定講習会
- ・農業技術講習会  
(土壌改良/資材/肥料)
- ・農薬防除学習会  
など

# 芽かき講習会

3年ぶりに行われた芽かき講習会



## 【生産振興】ワインぶどう生産の普及活動



一般向け栽培学習会



県ワイン生産アカデミー



小学生収穫体験

ワインぶどう栽培を行う仲間を増やす取組みとして、村内の他の品目を栽培する農家や近隣市町村等に在住する一般の方を対象に、ワインぶどうの栽培方法を紹介するなど呼びかけを行っているほか、高山小学校の児童の収穫体験を行うなど普及活動を行っている。

また、長野県が主催する「ワイン生産アカデミー」の受講生を対象に、栽培技術等の事例を紹介。これを契機に研究会への入会する者のほか、高山村へ移住しワインぶどうで就農した方もいます。



## 【醸造技術向上】

### ・ワイナリー視察

(先進ワイナリーの視察のほか、隣接する須坂市の県立須坂創成高等学校生徒の授業にも参加)

### ・ワインテイasting講習会、 酒税法セミナーの開催 など



観光協会員向けワインセミナー



生ハムとワインパーティー



イベント「星とワイン」

## 【PR活動等によるワイン文化の醸成】

高山村産ワインの振興、村内でのワイン文化を定着・促進し地域の活性化を図るための活動として、信州高山温泉郷観光協会や高山村商工会と連携したワイン試飲会イベントの開催。



東京銀座 銀座NAGANO



長野市 飲食店でのPR試飲会



東京汐留 ベイシスワイン会



新潟県上越市 イオン高山村フェア

# ワイン産地づくりのため村が特定任期付き職員採用・配置

新聞 2015年(平成27年)2月3日 火曜日 地域 24

信州ワイド

信 東信 北信

## 初のワイン専門村職員

### 新たな醸造所の開設も視野

高山

ワイン生産の振興を目指す上  
高井郡高山村で、ワインの専門  
職員として鷹野永一さん(48)が  
村に採用され、2日、役場で辞  
令を受けた。鷹野さんはワイ  
ン製造大手メルシャン(東京)  
での勤務経験があり、今後は

元製造大手勤務  
鷹野さんに辞令

村内のブドウ農家にワイン醸造  
の方法などを指導する。村は、  
新たなワイナリー(ワイン醸  
造所)建設にもつなげたい考  
えた。

高山村がワイン専門職員を採  
用するのは初めてで、任期は3  
年。山梨県出身の鷹野さんは、  
大学卒業後メルシャンに入社  
し、ワイン醸造や品質管理など  
に携わってきた。高山村のブド  
ウでワインを醸造したこともあ  
るといふ。「高山村のブドウの  
品質は高くなってきている。世  
界に通じる産地づくりをした  
い」と抱負を語る。

高山村は2011年、小規模  
なワイナリーを開業できる「ワ  
イン特区」に認定された。ただ、  
実際にワイナリーを始めるには  
醸造技術などの習得が必要なた  
め、専門職員を採用した。久保  
田勝土村長は「ワインブドウ  
で生産・加工・販売まで行う6  
次産業化を進め、高山村のブ  
ランドを発信していきたい」と  
話した。

辞令交付後、久保田村長と話す  
鷹野さん(左)



2015(H27).2.3付 信濃毎日新聞



# CANTINA RIEZO (合同会社カンティナー・リエゾー)



村内第1号ワイナリー

## 高山村初のワイナリー 2015年10月にオープン

2015年10月30日、高山村黒部区に高山村初のワイナリー(ワイン醸造所)が誕生しました。

ワイナリーを開設したのは、高山村ワインぶどう研究会員で、2007年から、ワインブドウ約80aを栽培する湯本康之さんが代表を務める合同会社カンティナー・リエゾーです。このワイナリーは、高山村が2011年に取得した「信州・高山ワイン特区」(酒造製造免許に係わる最低製造数量基準が6千ℓから2千ℓへ緩和される制度)を活用して建築した約60㎡のワイナリーで、小規模なワイナリーの集積による高山村らしいワイン産地の形成や高山村産ワインのブランド化をリードするワイナリーとして期待されています。

農家主体のワイナリー誕生《農業の6次産業化》

村内第2号ワイナリー 2016年10月完成

株式会社信州たかやまワイナリー  
SHINSHU TAKAYAMA WINERY

農家が主体となり、農業の6次産業化と栽培・醸造・販売を一貫して行うワイナリーを経営できる人材養成を兼ね備えた高山村の中核となるワイナリーが誕生しました。



農業の6次産業化による農家所得の向上

地域の多様な事業者の連携により、ワインブドウ栽培からワインの醸造・販売までを一貫して行う農業の6次産業化に取組み、新たな付加価値を創出することで農家所得の向上を図る。

2017年4月15日  
初醸造・村内限定販売  
「Nac'ho(なっちょ)2016」



高山村らしい  
ワイン産地の  
形成

遊休農地を有効利用し、村の豊かな自然の恵みと環境を活かしたワインブドウ栽培に加え、ワイナリーを経営することができる人材を養成することで、小規模ワイナリーの集積等による持続的なワイン産地の形成を目指す。

2017年夏～  
「ヴァラエタルシリーズ」  
・シャルドネ  
・ソーヴィニヨン・ブラン  
・メルロー&カベルネ  
・ピノ・ノワール(2019.3～)



地域の活性化・  
幅の広い経済効  
果を生み出す

りんご・ぶどうなどととも、魅力的な高山村農産物ブランドの構築を支援、商工・観光業との連携による総合的な産業振興を図る。農山村交流人口の増加、生涯雇用創出と移住促進、高齢者の継続的な農業従事の促進、農業参入者支援などの地域活性化に寄与することが期待される。



# ドメーヌ長谷 (合同会社 Hikaru farm)

村内第3号ワイナリー



**高山村 第3の「個性派ワイナリー」誕生 代表 長谷光浩さん(金沢市出身)**

2017年9月、標高約800mの高山村福井原地区にワイナリーが誕生。

2013年、長野県ワイン生産アカデミー(1期生)受講。2014年、海外(ニュージーランド)、そして村内栽培者の佐藤明夫さんのもとでの研修を経て、2015年に就農し、東御市のアルカンヴィーニュ(1期生)で研修。

約6haの畑と、約110㎡のワイナリーを構え、「ドメーヌ」という名のとおり、自家栽培自家醸造を行い、同じ畑のなかにその土地にあった何種類ものブドウを植えて一斉に収穫、醸造するという、ゲミシュターサッツ(フィールドブレンド・混植混醸)のワインづくりを目指しています。

# マザーバインズ 長野醸造所



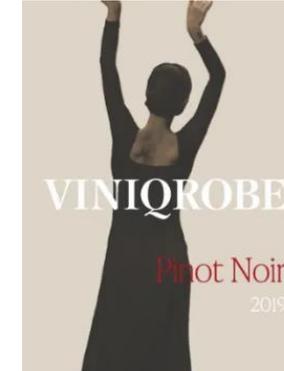
## 高山村第4のワイナリー 2018年ワイナリーのコンサルティング会社 設立

広い分析室と小規模の仕込みにも対応できる設備も備え、ワインメーカーの石塚創さんがワイナリー設立を志す人を支援しています。

母樹という名のワイナリー

# ヴィニクローブ

村内第5号ワイナリー



## 高山村第5のワイナリー 2019年ワイナリー設立

ピノワールと高山村に魅せられ、ぶどう栽培を始めた。

北アルプスを臨み風が吹き抜ける美しい丘陵にヴィニクローブは誕生しました。ピノワールを主体とした赤ワインの生産を行っています。

繊細で優美なピノの香りと研ぎ澄まされたワインづくりを表すように、ラベルにバレリーナが踊る。

# 川島醸造

村内第6号ワイナリー



高山村第6のワイナリー 2021年にワイナリー 設立

農業を志して高山村に移り住んだ川島さん。

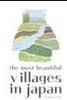
2016年からワイン用ぶどうの栽培を開始。

2021年にワイナリーを設立し初仕込みを行った。2022年の春にカベルネ・ソーヴィニヨンの初リリース目指しています。

高山村のワイン用ブドウ栽培面積の推移

栽培面積は64ha !

年度	村総圃場面積 (ha)	総栽培者数 (人)	うち		栽培法人数 (社)
			専業者(人)	村外出身者(人)	
H8(1996)頃	0.8	1	1	1	0
H17(2005)	3.1	3	3	3	3
H18(2006)	3.1	12	7	5	3
H19(2007)	14.0	12	7	5	3
H20(2008)	15.8	12	7	5	3
H21(2009)	17.0	12	7	5	3
H22(2010)	19.0	13	8	5	3
H23(2011)	21.0	15	9	6	3
H24(2012)	24.0	15	9	6	3
H25(2013)	26.0	16	13	10	3
H26(2014)	26.6	19	14	11	6
H27(2015)	35.0	24	17	15	6
H28(2016)	40.0	28	21	18	7
H29(2017)	50.0	29	22	18	7
H30(2018)	52.0	35	25	22	9
R1(2019)	55.0	35	25	22	9
R2(2020)	58.5	35	25	22	9
R3(2021)	61.6	35	25	22	9
R4(2022)	64.0	34	25	22	9



# 世界に通じるワイン産地を目指して

～ 高山村産のワインぶどうから醸造されたワインの高い評価 ～



高山村産のワインブドウを使用した  
「メルシャン北信シャルドネ2014」が  
G7伊勢志摩サミット2016  
ワーキングランチ/総理夫人主催夕食会  
で提供されました。



サントリージャパンプレミアム高山村シャルドネ、安曇野ワイナリー高山村シャルドネシュール・リー、サンクゼールシオン・エナ、ココファーム&ワイナリーなど

## ● 国内ワインコンクール入賞

- \* 日本ワインコンクール2005(山梨県) 金賞 「シャトーメルシャン北信シャルドネ2004」
- \* 日本ワインコンクール2016(山梨県) 金賞・部門最高賞 「シャトーメルシャン北信シャルドネ 千曲川右岸収穫2015」
- \* 日本ワインコンクール2017(山梨県) 金賞 「サントリージャパンプレミアム 高山村産シャルドネ2016」

をはじめ、毎年高山村産のワインブドウを使用したワインが上位入賞し、高い評価をいただいております。

## ● 国際ワインコンクール入賞

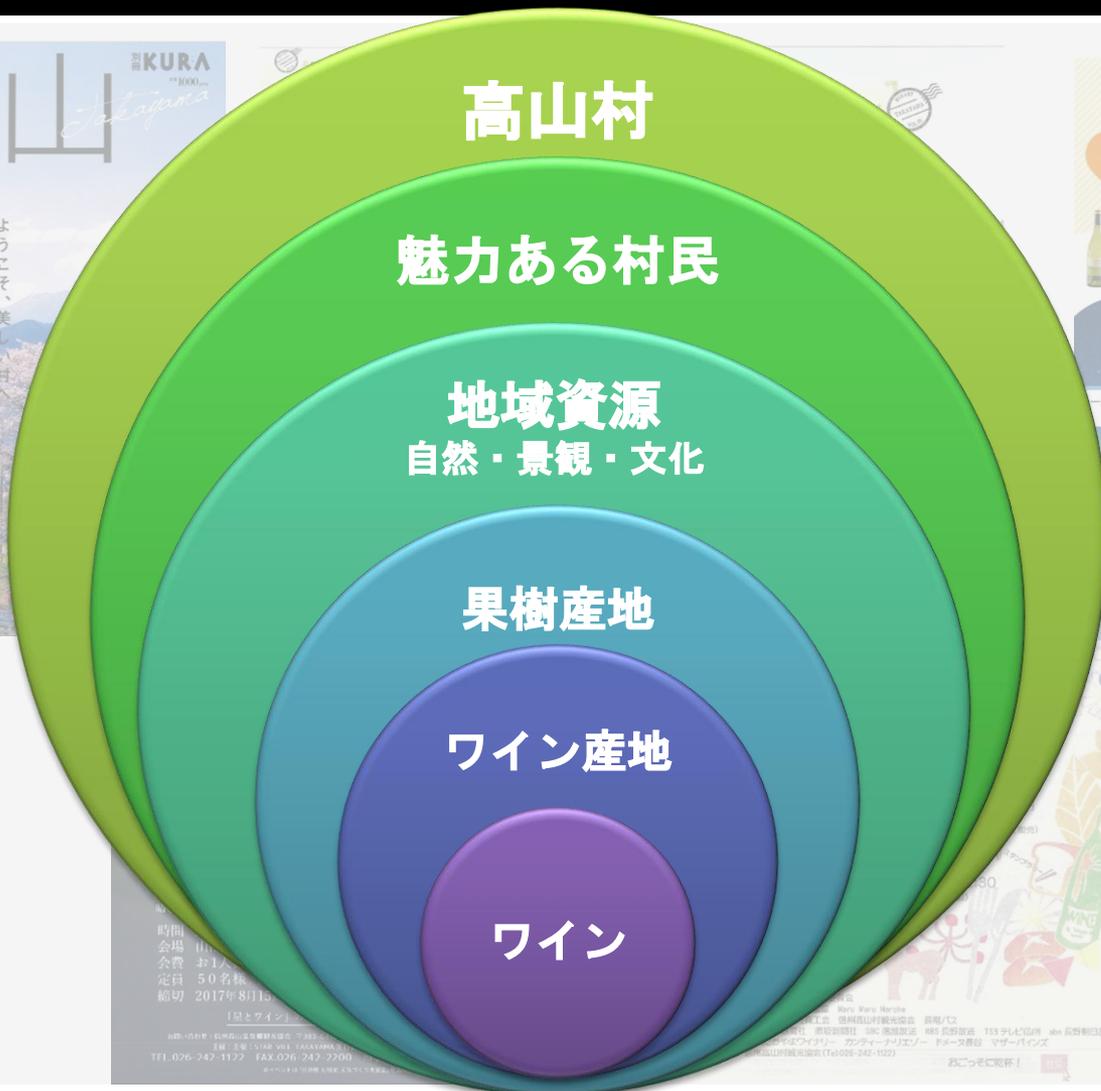
- \* IWC (ロンドン) 金賞 「シャトーメルシャン北信シャルドネ2011」
- \* IWC (ボルドー) 金賞 「シャトーメルシャン北信シャルドネ2012」
- \* レシタテルデュヴァン2014(フランス) 金賞 「サントリー高山村シャルドネ2012」
- \* レシタテルデュヴァン2015(フランス) 金賞 「サントリー高山村シャルドネ2013」
- \* レシタテルデュヴァン2016(フランス) 金賞 「サントリー高山村シャルドネ2014」
- \* レシタテルデュヴァン2016(フランス) 金賞・日本ワイン特別賞
- \* 第58回リュブリアナ国際ワインコンクール(スロベニア) 金賞

「シャトーメルシャン北信シャルドネ ミッドナイトハーベスト2014」

- \* レシタテルデュヴァン2017(フランス) 金賞・日本ワイン特別賞

「シャトーメルシャン北信シャルドネ 千曲川右岸収穫2015」

信州 高山 KURA 1900



時間 11:00-17:00  
 会場 山梨県高山市  
 会費 お1人1,000円  
 定員 50名様  
 締切 2017年8月13日

【星とワイン】  
 星とワインの会  
 〒387-0001 山梨県高山市  
 TEL 026-242-1122 FAX 026-242-2206

星とワインの会  
 〒387-0001 山梨県高山市  
 TEL 026-242-1122 FAX 026-242-2206

「モノ」から「コト」へ  
 「ワイン」をきっかけに「高山村」へ



豊かな自然の恵みと環境の中で育まれた  
高山村らしいワイン産地づくりを目指します

